

都 市 計 画（案）

東京都市計画道路 区画街路 板橋区画街路第 9 号線の変更（板橋区決定） P. 1 ～ P. 4

東京都市計画道路 区画街路都市高速鉄道東武鉄道東上本線附属街路第 1 号線

ほか 5 路線の変更（板橋区決定） P. 5 ～ P. 9

東京都市計画都市高速鉄道 東武鉄道東上本線の変更（東京都決定） P. 10 ～ P. 17

東京都市計画道路の変更（板橋区決定）

東京都市計画道路に、区画街路板橋区画街路第9号線を次のように追加する。

種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延 長	構造形式	車線の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
区 画 街 路	板区街9	板橋区画街路 第9号線	板橋区 大山東町	板橋区 大山東町	—	約20m	地表式	2車線	16m	幹線街路と平面交差1箇所	
	その他		なお、板橋区大山東町地内に交通広場を設ける。								面積 約3,300㎡

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理 由：交通の円滑化や歩行環境の改善による安全性の向上を図るため、追加する。

変 更 概 要

名 称	変 更 事 項
板橋区画街路第9号線	1. 新規追加 2. 交通広場の設置 面積約3,300㎡（板橋区大山東町地内）

縮尺 一万分の一

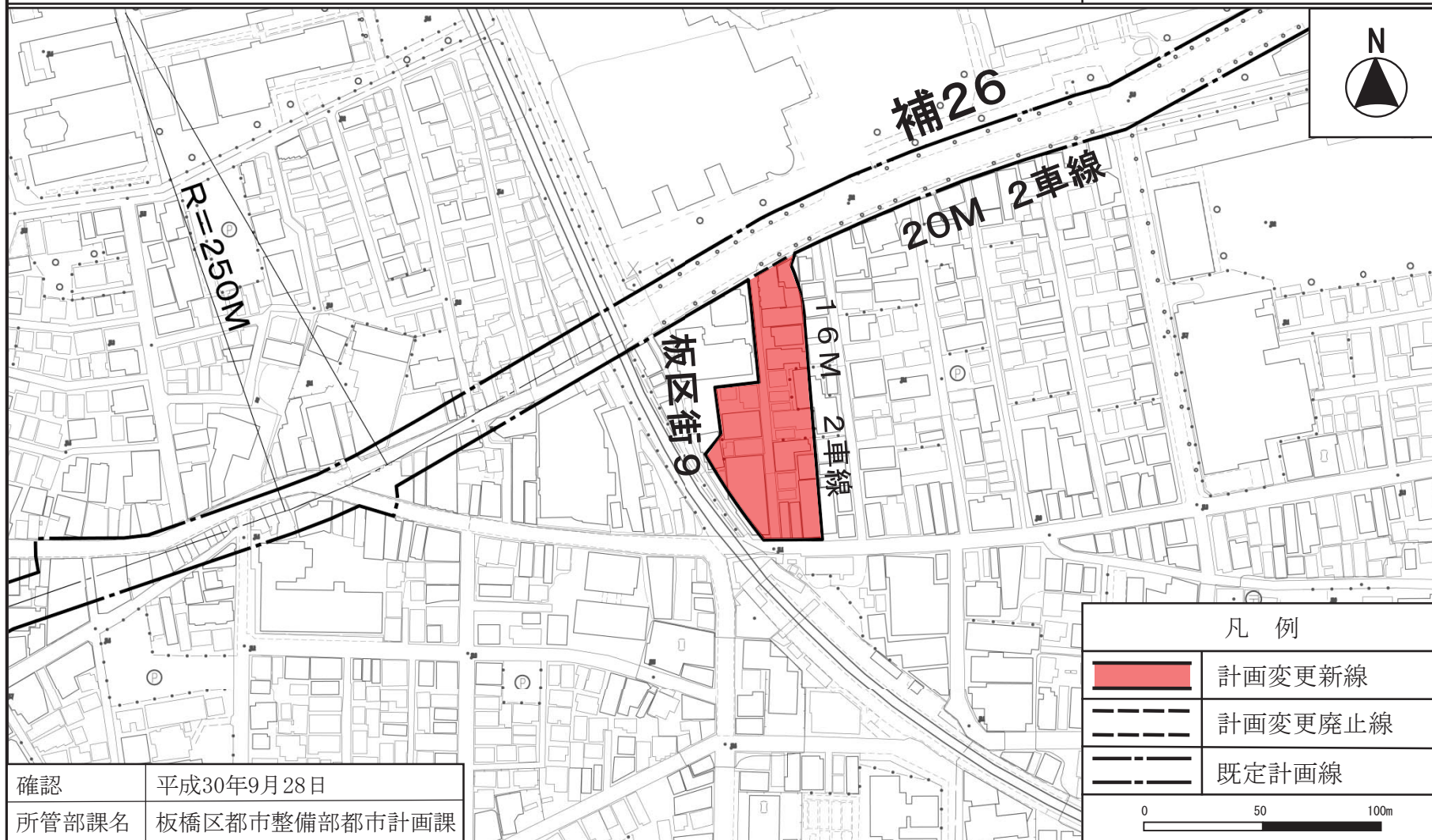


東京都市計画道路区画街路

板橋区画街路第9号線 計画図

〔板橋区決定〕

縮尺 二千五百分の一



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺1/2, 500地形図を利用して作成したものである。(承認番号)30都市基交著第21号、平成30年4月2日
 ただし、計画線は、都市計画道路の計画図から転記したものである。(承認番号)30都市基街都第49号、平成30年5月22日。無断複製を禁ずる。

都市計画の案の理由書

1. 種類・名称

東京都市計画道路 区画街路 板橋区画街路第9号線

2. 理由

大山駅周辺地区は、板橋区都市づくりビジョンにおいて、「都市づくり推進地区」に位置付けられており、「東武東上線の立体化の促進」、「駅前広場の整備とにぎわい・交流拠点の形成」、「バス利便性の向上」などの都市づくりの展開方針が示されている。また、平成26年3月に策定した「大山まちづくり総合計画」では、鉄道、バス、タクシー、自家用車、自転車、歩行者などの移動手段が異なる人々が円滑に地域を移動できるように、駅前広場の整備を中心とした交通結節点の強化を図ることは、今後の当地区の更なる発展のために不可欠な取り組みとしている。

一方、東京都では、踏切における交通渋滞や鉄道による地域分断等の問題を解決するため、平成16年6月に「踏切対策基本方針」を策定し、東武東上線の大山駅付近について、連続立体交差事業を進めていくこととしている。

当地区は駅を中心に商店街が形成されており、多くの自転車や歩行者が通行している。加えて、車両の通行が規制されている時間以外には、駅利用者のためのタクシーや一般車が流入し、接触事故が発生しているなど、歩行者の安全な通行を妨げている。また、当地区を東西に結ぶ補助線街路第26号線については、環状第6号線から東武東上線との交差部までが既に整備されており、この区間において、タクシーや一般車の路上駐停車が慢性的に発生しているため、交通の円滑化の妨げとなるほか、安全上においても課題となっている。これらの課題を踏まえ、連続立体交差事業にあわせて、交通の円滑化や歩行環境の改善による安全性の向上を図るため、交通広場（面積約3,300㎡）を含む板橋区画街路第9号線（幅員16m、延長約20m）を決定するものである。

東京都市計画道路の変更（板橋区決定）

東京都市計画道路に、区画街路都市高速鉄道東武鉄道東上本線附属街路第1号線ほか5路線を次のように追加する。

種別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
区画街路	鉄東上付1	東武鉄道東上本線 附属街路第1号線	板橋区大山東町	板橋区大山東町		約40m	地表式		6m		
	鉄東上付2	東武鉄道東上本線 附属街路第2号線	板橋区大山東町	板橋区大山東町		約60m	地表式		6m		
	鉄東上付3	東武鉄道東上本線 附属街路第3号線	板橋区大山東町	板橋区大山金井町		約110m	地表式		6m		
	鉄東上付4	東武鉄道東上本線 附属街路第4号線	板橋区大山金井町	板橋区大山金井町		約90m	地表式		6m		
	鉄東上付5	東武鉄道東上本線 附属街路第5号線	板橋区大山金井町	板橋区大山金井町		約40m	地表式		6m		
	鉄東上付6	東武鉄道東上本線 附属街路第6号線	板橋区大山町	板橋区大山町		約80m	地表式		4～17m	幹線街路と平面交差 1箇所	

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理 由

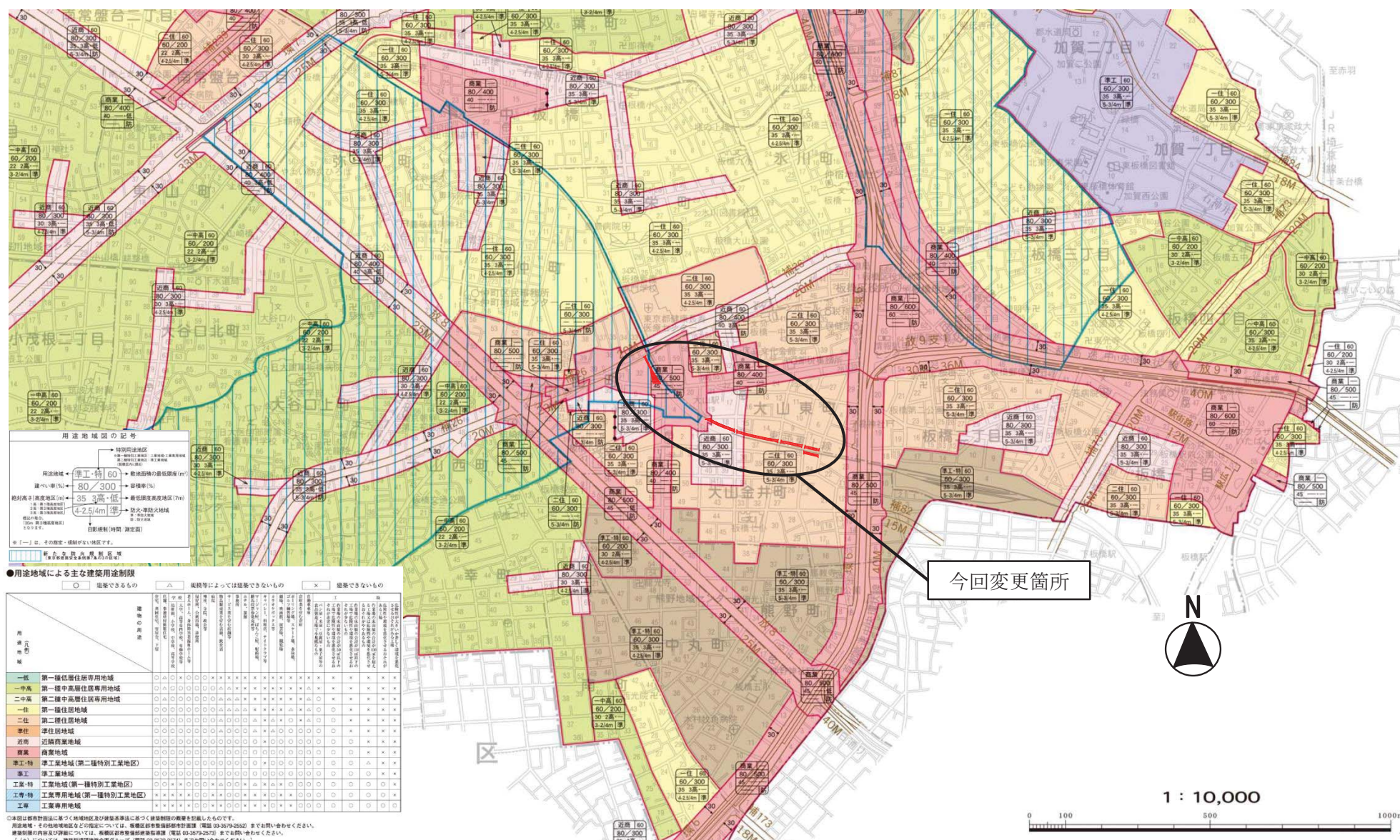
鉄道の立体化に伴う沿線の良好な住環境の保全や地域の利便性の向上などを目的として、都市高速鉄道附属街路として新たに区画街路を追加する。

変 更 概 要

名 称	変 更 事 項
区画街路都市高速鉄道東武鉄道東上本線附属街路第 1 号線 区画街路都市高速鉄道東武鉄道東上本線附属街路第 2 号線 区画街路都市高速鉄道東武鉄道東上本線附属街路第 3 号線 区画街路都市高速鉄道東武鉄道東上本線附属街路第 4 号線 区画街路都市高速鉄道東武鉄道東上本線附属街路第 5 号線 区画街路都市高速鉄道東武鉄道東上本線附属街路第 6 号線	1. 新規追加

都市高速鉄道東武鉄道東上本線付属街路第1号線～第6号線 総括図 〔板橋区決定〕

縮尺 一万分の一



東京都市計画道路区画街路

都市高速鉄道東武鉄道東上本線付属街路第1号線～第6号線 計画図 [板橋区決定]

縮尺 二千五百分の一



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺1/2,500地形図を利用して作成したものである。(承認番号)30都市基交著第21号、平成30年4月2日
 ただし、計画線は、都市計画道路の計画図から転記したものである。(承認番号)30都市基街都第135号、平成30年8月17日。無断複製を禁ずる。

都市計画の案の理由書

1. 種類・名称

東京都市計画道路 区画街路都市高速鉄道東武鉄道東上本線付属街路第1号線 ほか5路線

2. 理由

大山駅周辺地区は、板橋区都市づくりビジョンにおいて、「都市づくり推進地区」に位置付けられており、「東武東上線の立体化の促進」、「駅前広場の整備とにぎわい・交流拠点の形成」などの都市づくりの展開方針が示されている。

また、平成29年12月に策定した「大山駅周辺の交通ネットワーク構想」において、補助第26号線の整備及び鉄道立体化を見据えるとともに、駅前広場の整備などと連携し、適正な道路の機能分担と交通のすみ分けにより、安心・安全な地区の形成、アクセスの向上、にぎわいの維持・向上などに寄与する駅周辺の交通ネットワークをめざすとし、鉄道敷地に沿って自転車・歩行者等の動線を確保し、駅へのアクセスをしやすくするなどとしている。

一方、東京都では、踏切における交通渋滞や鉄道による地域分断等の問題を解決するため、平成16年6月に「踏切対策基本方針」を策定し、東武東上線の大山駅付近について、連続立体交差事業を進めていくこととしている。

これらのことから、板橋区において、東武鉄道東上本線大山駅付近の連続立体交差化計画にあわせて、沿線の良好な住環境の保全や地域の利便性の向上を目的として、都市高速鉄道東武鉄道東上本線付属街路第1号線ほか5路線について都市計画決定するものである。

東京都市計画都市高速鉄道の変更（東京都決定）

東京都市計画都市高速鉄道に東武鉄道東上本線を次のように追加する。

1 線路部分

名 称		位 置			区 域	構 造		備 考
番号	路線名	起 点	終 点	主な経過地	延 長	構造形式	地表式の区間における幹線街路等との交差の構造	
	東武鉄道 東上本線	板橋区板橋二丁目	板橋区中板橋	板橋区大山金井町	約 1,870m			線路線数 2 連続立体交差事業
	内 訳	板橋区板橋二丁目 板橋区大山金井町 板橋区仲町	板橋区大山金井町 板橋区仲町 板橋区中板橋		約 370m 約 950m 約 550m	地表式 嵩上式 地表式	幹線街路と立体交差 1箇所	

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

2 主要施設

名 称			位 置	備 考
番号	路 線 名	施 設 名		
	東武鉄道東上本線	大山駅	板橋区大山町	ホーム面積 約 3,200 m ²

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理 由

東武鉄道東上本線の大山駅付近において、踏切による道路交通渋滞の解消及び沿線市街地の一体的なまちづくりの推進等を目的として、連続立体交差事業を実施するため都市計画を変更する。

また、本事業の実施が周辺環境に与える影響については、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価書案のとおりであり、都市計画を定める上で支障がないと判断する。

3 変更概要

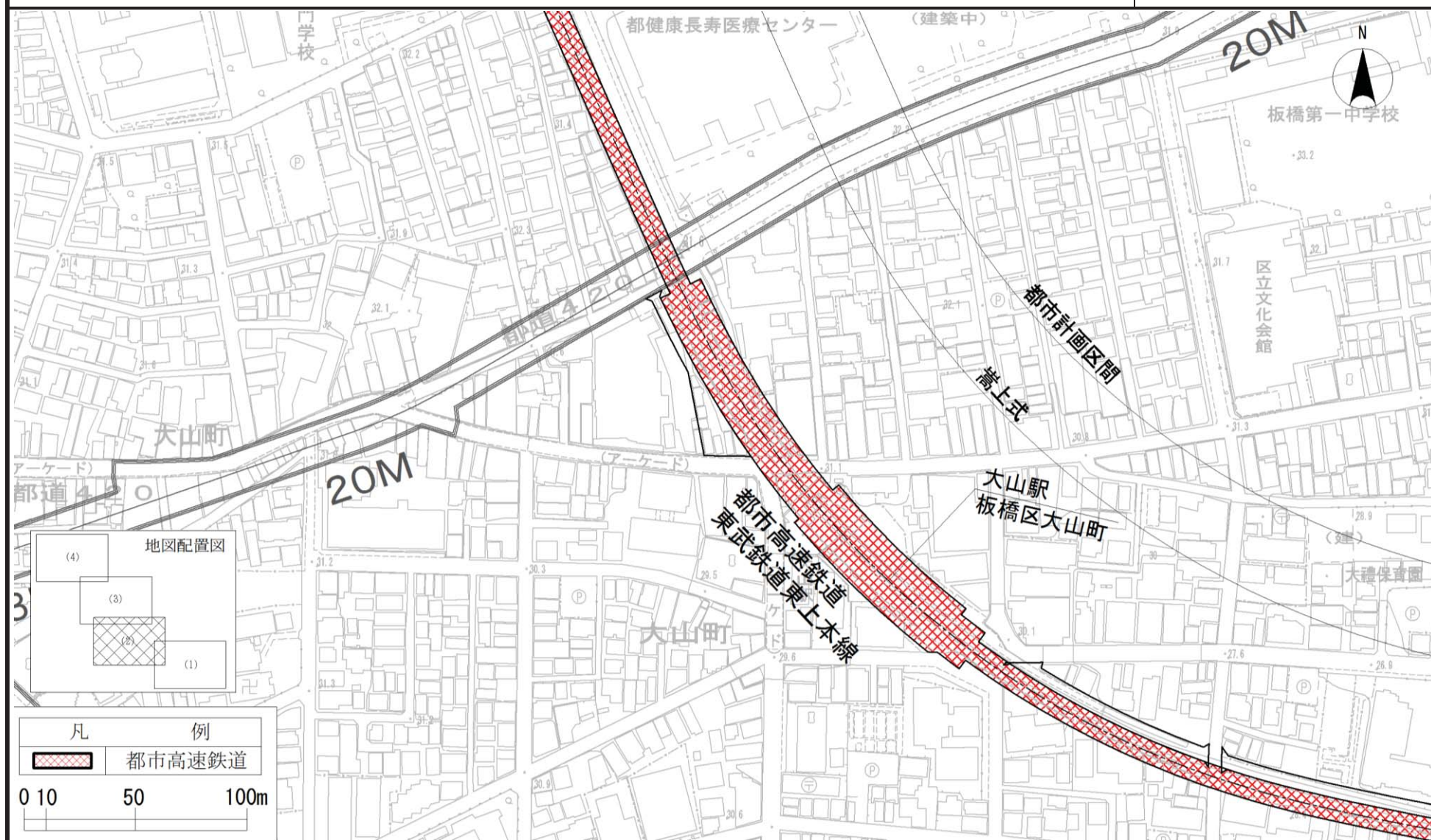
名 称	変更区間・位置	変 更 事 項
東武鉄道東上本線	板橋区板橋二丁目～板橋区中板橋	1 新規追加

〔東京都決定〕



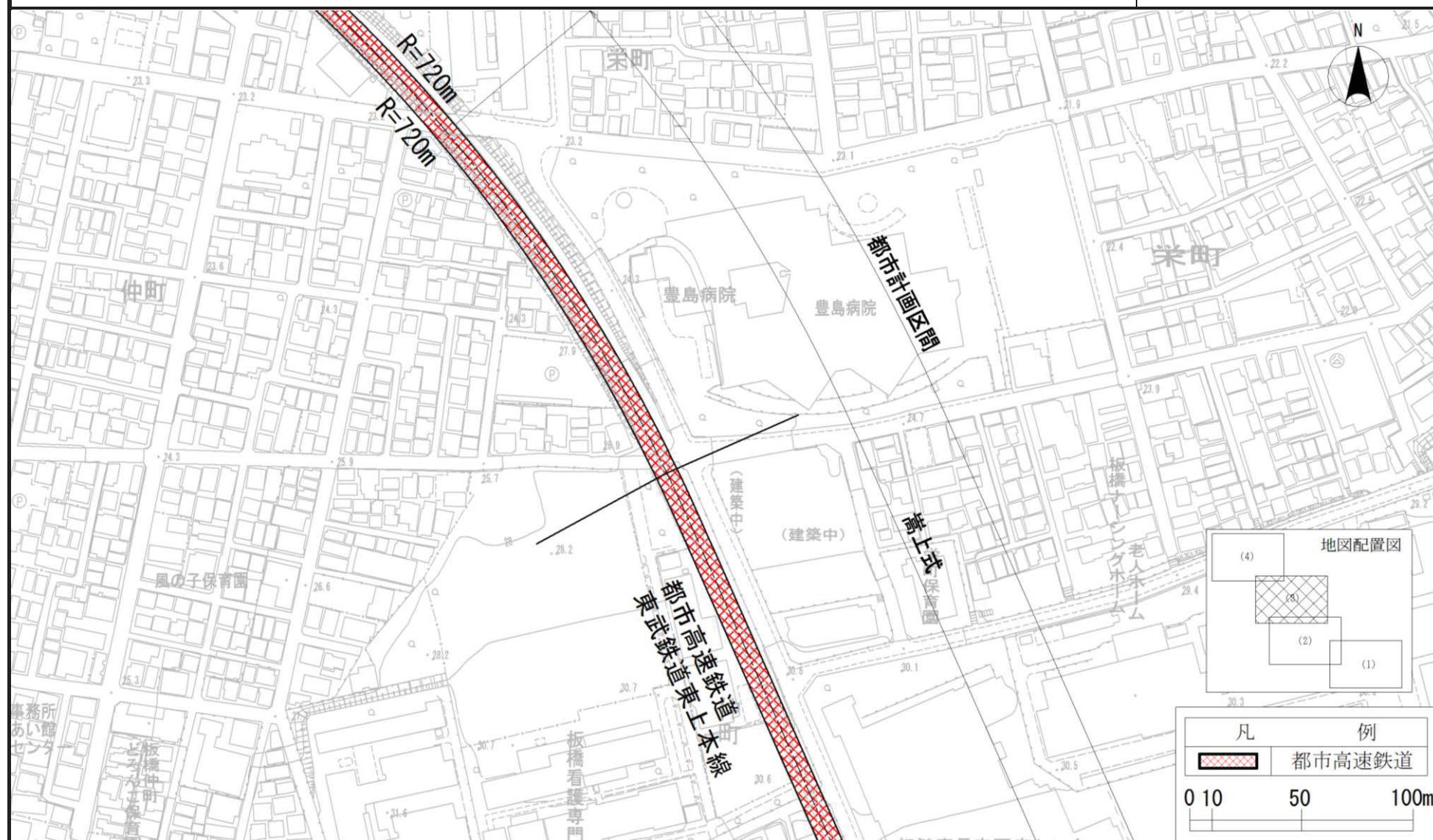
(承認番号) 29都市基交都第52号、平成29年10月20日 (承認番号) 30都市基街都第49号、平成30年5月22日

東京都市計画都市高速鉄道東武鉄道東上本線 計画図 2 [東京都決定]



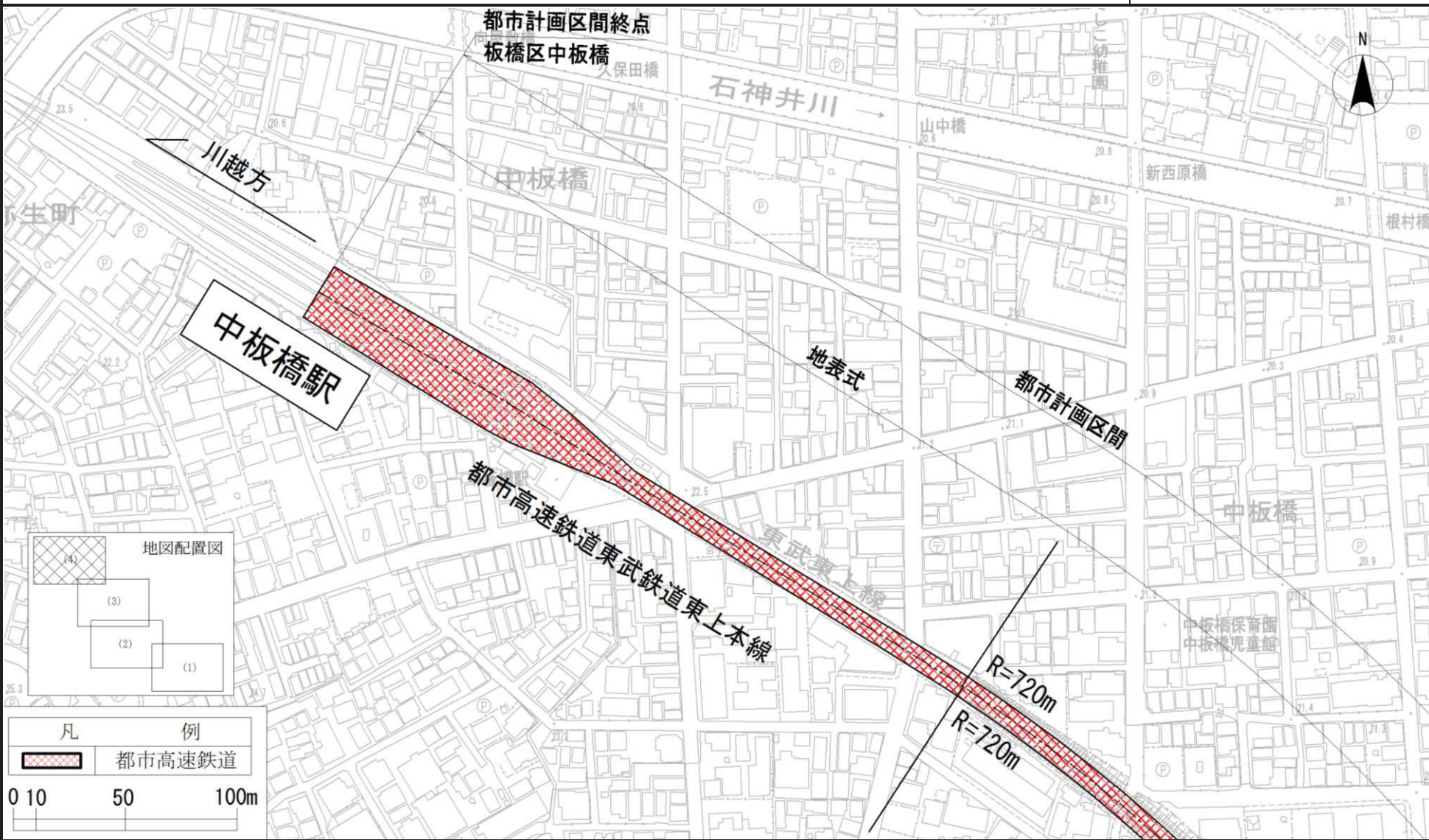
この地図は、国土地理院長の承認（平成24関公第269号）を得て作成した東京都地形図（S=1：2,500）を使用（29都市基交第562号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。
 （承認番号）29都市基交都第52号、平成29年10月20日 （承認番号）30都市基街都第49号、平成30年5月22日

東京都市計画都市高速鉄道東武鉄道東上本線 計画図 3 [東京都決定]



この地図は、国土地理院長の承認（平成24関公第269号）を得て作成した東京都地形図（S=1：2,500）を使用（29都市基交第562号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。
 （承認番号）29都市基交都第52号、平成29年10月20日 （承認番号）30都市基街都第49号、平成30年5月22日

〔東京都決定〕



この地図は、国土地理院長の承認（平成24関公第269号）を得て作成した東京都地形図（S=1：2,500）を使用（29都市基交第562号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。
（承認番号）29都市基交都第52号、平成29年10月20日 （承認番号）30都市基街都第49号、平成30年5月22日

都市計画の案の理由書

1 種類・名称

東京都市計画都市高速鉄道 東武鉄道東上本線

2 理由

東京都では、踏切における交通渋滞、鉄道による地域分断等の問題を解決するため、平成16年6月に「踏切対策基本方針」を策定した。この中で、東武鉄道東上本線の大山駅付近については、「鉄道立体化の検討対象区間」のひとつとして、計画的に踏切対策を進めていく区間に位置付けている。

東武鉄道東上本線の大山駅付近では、幹線道路である補助第26号線等が鉄道と平面交差している。これらの平面交差箇所にある踏切は「開かずの踏切」となっており、交通渋滞や鉄道による地域分断等が生じていることから、これらの踏切を解消し、地域の活性化を図ることが課題となっている。

こうしたことから、本都市計画案は、東武鉄道東上本線の大山駅付近において、踏切による交通渋滞の解消及び沿線市街地の一体的なまちづくりの推進等を目的として、連続立体交差事業を実施するため、都市計画を変更しようとするものである。

なお、本都市計画手続とあわせて、東京都環境影響評価条例に基づく手続を行う。